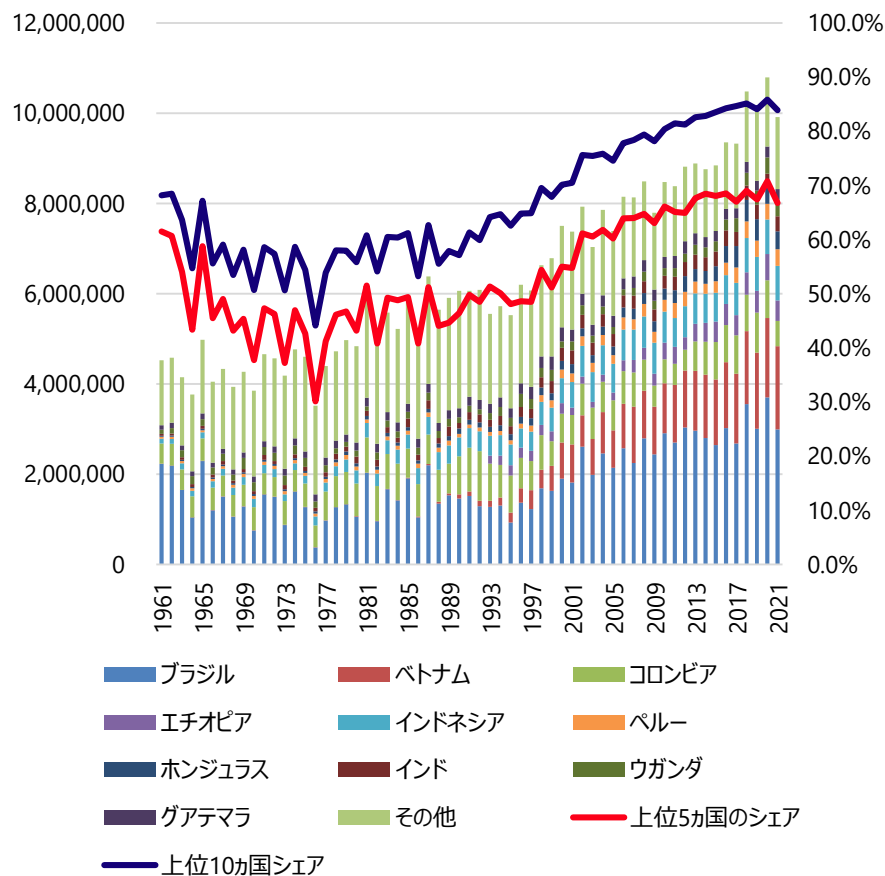


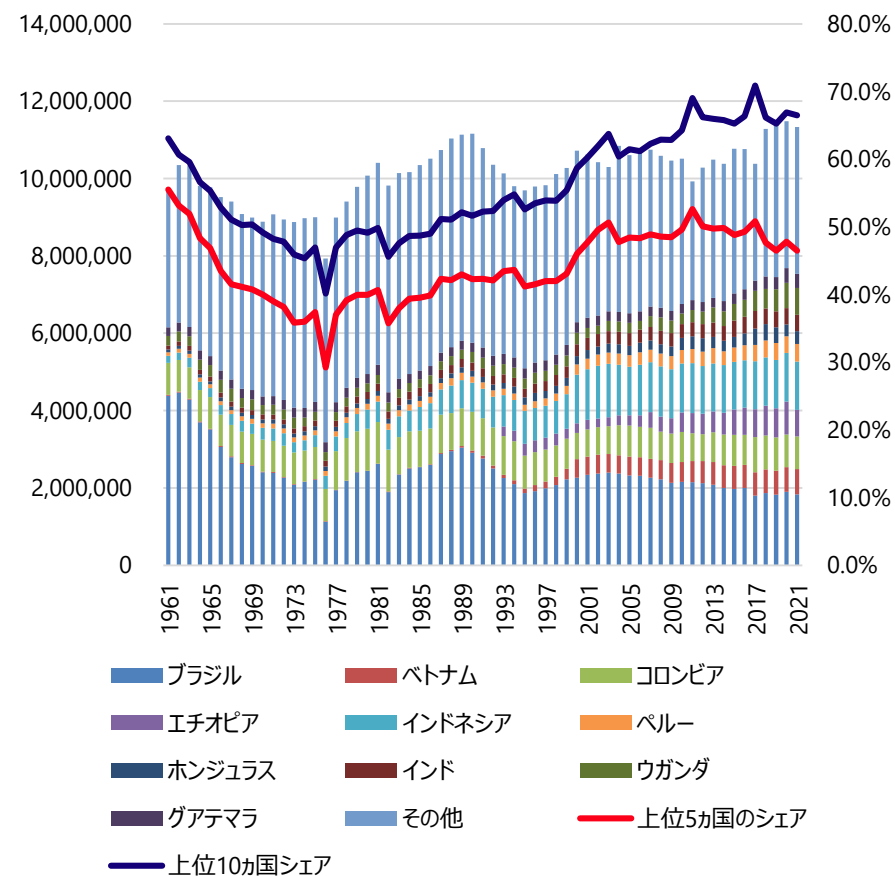
コーヒー豆の主要生産国

- コーヒーの生産量はブラジルとベトナム、コロンビア、エチオピア、インドネシアの上位5か国で約70%を占めている状況である

生産量の推移



収穫面積の推移



出所：FAOSTATよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ベトナムの概要

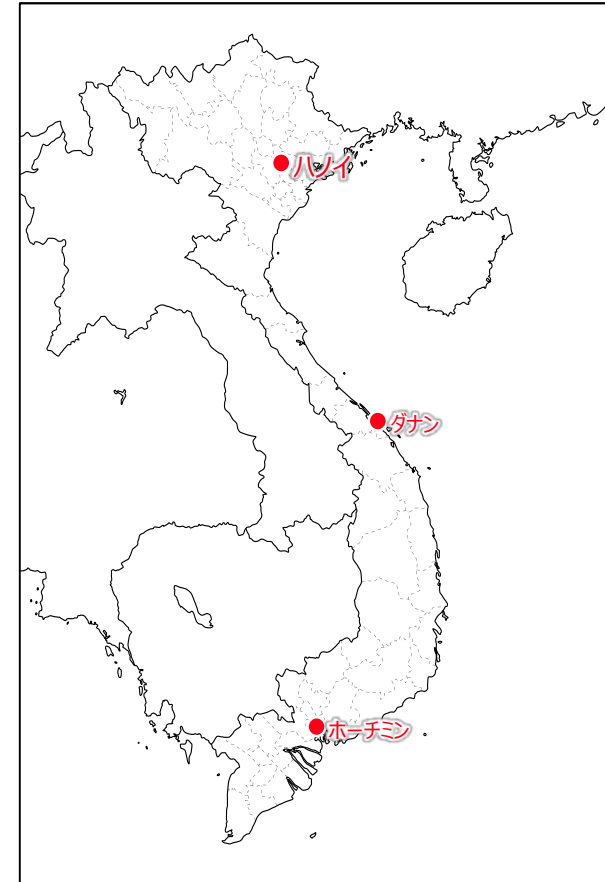
- ベトナムは人口約9,762万人（2020年）を抱える多民族国家である。経済面においては、低賃金の労働力などを背景に、外資の製造業を誘致し、輸出主導型の経済成長を続けている

ベトナムの概要

人口	約9,762万人（2020年）
面積	32万9,241km ² （日本の約 3 倍）
首都	ハノイ
言語	ベトナム語
民族	キン族（越人）約86%、他に53の少数民族
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
通貨	ドン
GDP（IMF）	約3,406億ドル（2020年）
1人あたりGDP（IMF）	3,498米ドル（2020年）
成長率（年平均、越統計総局）	2.91%（2021年）
信用格付（S&P）	BB+

出所：外務省及びS&Pよりみずほリサーチ＆テクノロジーズ作成

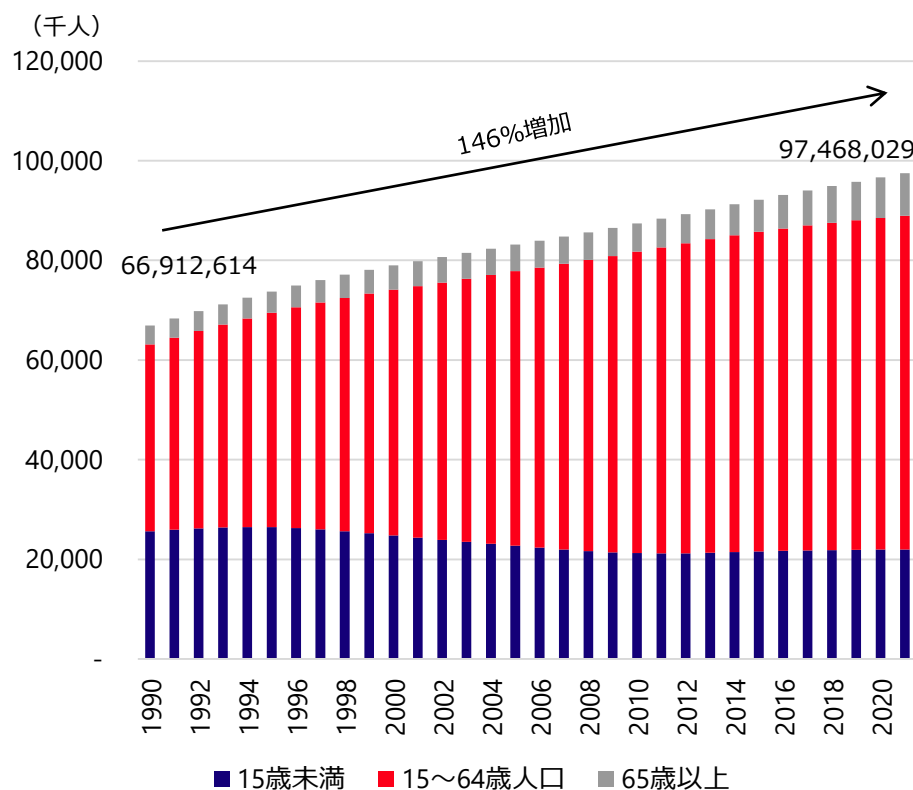
ベトナムの主要都市



ベトナムの人口推移

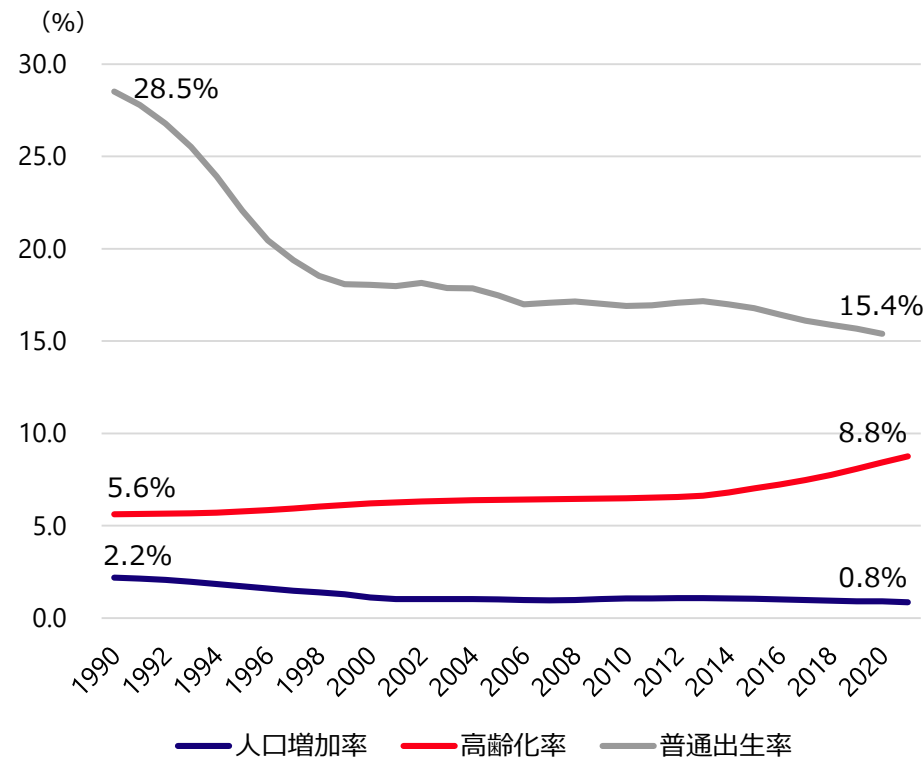
- 1990年のベトナムの人口は6,691万人。2021年には146%増加して9,747万人である
- 近年の年間人口増加率は1990年の2.2%から2020年に0.8%まで減少。出生率は1990年の28.5%から2020年に15.4%まで減少した。高齢化率は1990年の5.6%から2020年には8.8%に増加。徐々に高齢化が進行している

年齢別人口の推移



出所：世界銀行データよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

人口増加率・高齢化率・出生率の推移

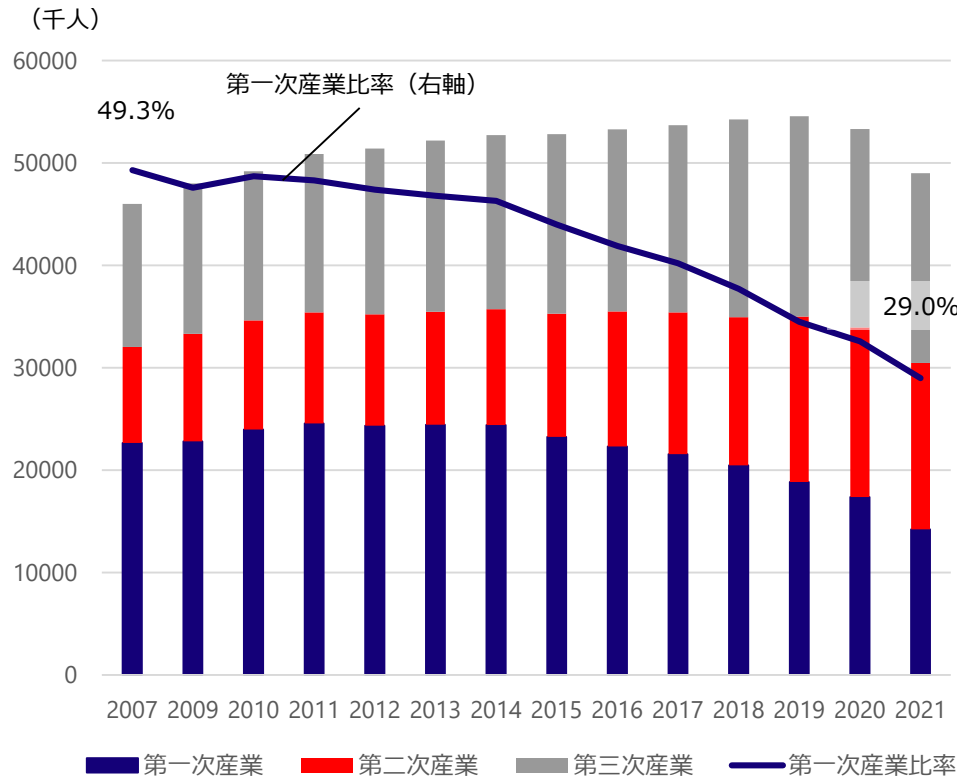


出所：世界銀行データ及びIMFデータよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ベトナムの労働人口の推移

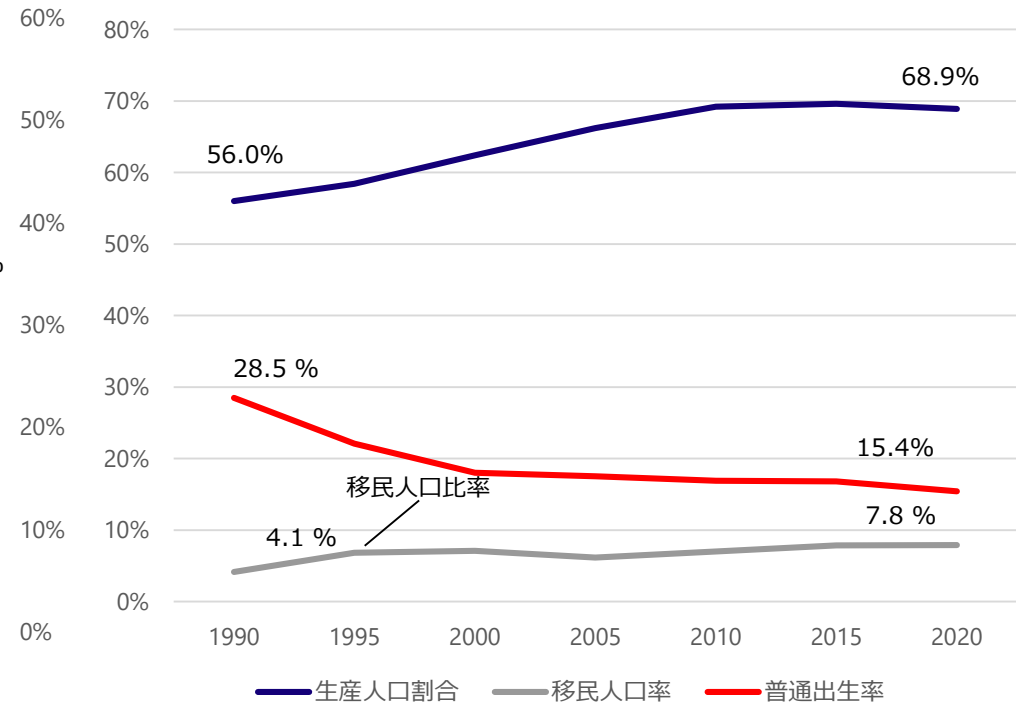
- 2021年のベトナムの業種別就業人口をみると、第一次＋第二次産業の就業人口は2007年からと大差はないものの、また農業を含む第一次産業の就業人口比率は2007年の49.3%から2021年は29%まで急激に減少している
- 1990年以降、生産年齢人口比率は緩やかに増加し、出生率は徐々に減少する一方で、移民人口比率は増加している

産業別就業人口の推移



出所：ILOデータよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

生産年齢人口比率・出生率・移民人口率の推移

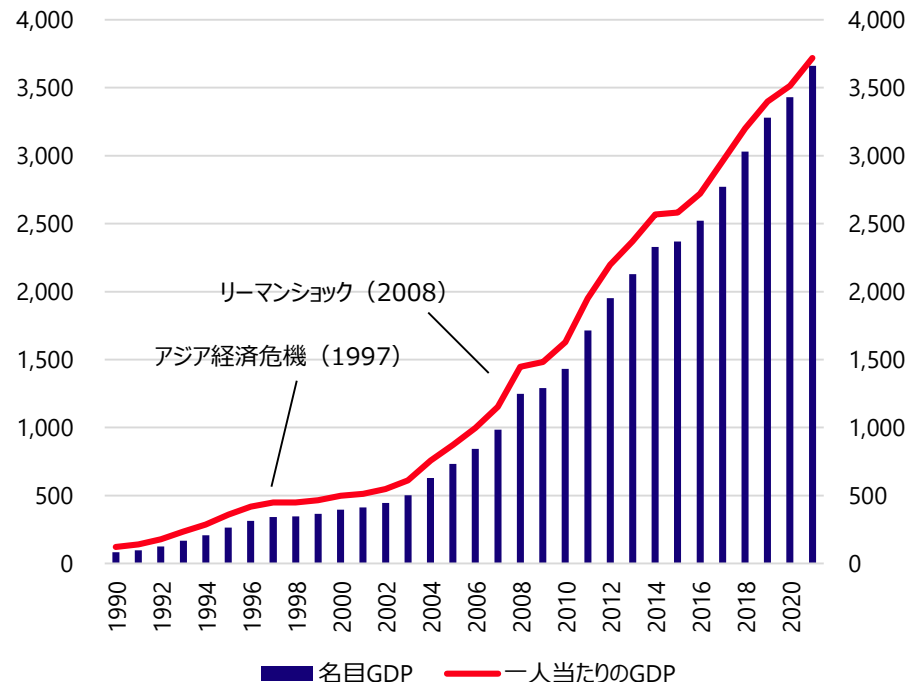


出所：世界銀行データ及び国連データよりみずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ベトナムのGDP

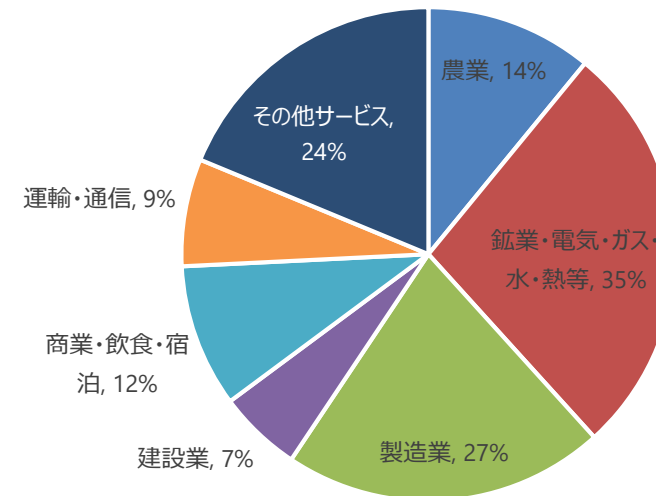
- 1990年以降のコロンビアの名目GDP（国内総生産）及び1人当たり名目GDPは、ドイモイの成果により大幅に増加。アジア経済危機及び金融危機の影響で一時期成長が停滞した時期はあったが、2010年に中所得国となり、2021年にはGDP3,665億USドル、1人あたりGDP3,718USドルまでになった
- 産業別内訳をみると、農業14%、鉱業等35%と資源産業の割合が約半分を占める

名目GDP（億ドル）、1人当たりのGDP（ドル）の推移



出所：IMFデータよりみずほリサーチ＆テクノロジーズ作成

2021年GDPの産業別内訳



出所：国連 National Accounts DBよりみずほリサーチ＆テクノロジーズ作成